

小学生がいる家庭では、学校の様子を知ることが簡単ではない家庭は、なかなかそうはいきません。特に統合後、学校が遠のいた地域においては、一抹の寂しさを感じているのではないのでしょうか。

また、昨今、子どもたちの教育を取り巻く環境は、急激な児童生徒数の減少と、グローバル化、情報化によって先を見通すことが一層困難となり、学校が抱える課題の複雑化、困難化が進んでいます。

そのようなことから、地域が総がかりで子どもたちを育む、新たな学校と地域の連携・協働

地域とともにある学校づくりコミュニティ・スクールの導入

「子どもたちの教育を取り巻く環境とコミュニティ・スクール」

4校あった小学校を1校に統合してから、間もなく10年目を迎えるようになっています。

小学校が1校になってからは、一学年当たり50〜60人の児童が二クラスに分かれ、切磋琢磨しながら、日々学習に臨んできました。



コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の仕組み

【学校運営協議会の設立準備】

町は、今年度、学校運営協議会設立準備会を設け、平成30年度からコミュニティ・スクールの導入を目指しています。

学校運営協議会委員には、どのような方がふさわしいのでしょうか。

保護者のほか、学校の活動への協力・支援を行っている方が必須であるとされ、行政役員、PTA会長、おやじの会代表、同窓会代表、民生委員児童委員代表、子ども会育成会代表、子どもの学習・活動などを支援している組織の代表、文化・スポーツ少年団の代表などが考えられています。

アイデアを出し合って本町ならではの組織をつくり、特色ある学校経営へと結び付けたいものです。

「心豊かな人間形成を目指すために」

皆さんは、子どもの将来をどのようにお考えでしょうか。

アメリカでは、2011年度に小学校に入学した子どもたちの65%は、大学卒業後に、今は存在しない分野の職業に就くであろうと考えられています。

今、私たちがしなければならぬことは、知識を詰め込むことに特化するのではなく、地域の支えによって心豊かな子どもたちを育むことだと考えます。

そうすることで、子どもたちは柔軟な発想力を持ち、私たちが思いつかないうような未来を切り開いていくのではないのでしょうか。

子どもたちが自己実現や地域貢献など、志を果たしていける未来を実現するため、皆さんも機会があれば、ぜひ学校運営協議会の一員となって、地域の子どもを地域で育て、元氣な地域を創ることを目指していきましょう。

新十津川町教育委員会事務局 局長 中畑 晃



食生活改善推進員協議会（通称：ヘルスマイト）とは？

「私たちの健康は私たちの手で」を合言葉に、家族や地域の方々に食の大切さを伝えている、平成7年に設立されたボランティア団体です。地域ぐるみのよりよい食習慣作りを目指して、現在27人のヘルスマイトが活動しています。

平成29年度活動紹介

◆春期研修会◆

年2回の自主研修会を実施しています。5月11日の春期研修会では、『野菜たっぷり 腸活メニュー』をテーマに調理実習を実施しました。

◆『食育の日』PR活動◆

毎月19日は食育の日です。春の集団健診・秋の集団健診・Aコープ新十津川店での計3回、健康レシピ配布など、食育の日をPRしました。



◆おすすめレシピ紹介◆

おからまぜ寿司 食物繊維豊富な「おから」をご飯に混ぜ込みました。腸の動きを活発にし、便秘解消に効果があります。

1人分199kcal、カルシウム87mg、塩分0.7g

材料（2合分）	
・米……………2合	・おから……………100g
・卵……………2個	B { 砂糖……………大さじ2
・サラダ油…ミニスプーン1	・塩……………ミニスプーン1/2
A { 砂糖……………小さじ1	・酢……………70ml
・塩……………少々	・青しそ……………5枚
・ちりめんじゃこ……………20g	・しょうがみじん切り…5g
・白ごま……………大さじ1	・かいわれ菜…適量



春期研修会の実施メニューです。

- <作り方>
- ①米はといで30分ほどおき、2合分の水を加えて炊く。青しそはみじん切りにする。
 - ②卵は溶いて、Aを入れかき混ぜる。フライパンにサラダ油を熱し、炒り卵を作る。
 - ③おからはラップをかけずに、電子レンジで2分（500W）加熱し、Bと混ぜ合わせる。
 - ④ご飯が炊きあがったら、ボウルにあけ、③を加えてさっくりと混ぜる。少し時間をおいて②と青しそ、しょうがみじん切り、ちりめんじゃこ、白ごまを加えてさっくりと混ぜる。
 - ⑤器に盛り、かいわれ菜を散らす。

■問合せ：食生活改善推進員協議会事務局（ゆめりあ内） ☎72-2000